

第 31 回群馬県理学療法士学会

モーニングセミナー ～循環器理学療法～



群馬県立心臓血管センター
服部 将也

循環器疾患は加齢に伴い発症リスクが増加する代表的な疾患であり、超高齢社会を迎えているわが国において、理学療法士が循環器疾患患者に関わる機会はより多くなっていくことが考えられます。特に慢性心不全患者は高齢者が多く、再入院率の高さが問題とされています。そのため心不全患者に対する理学療法では、心不全の状態を悪化させないようにリスク管理をしながら、早期離床により過度の安静がもたらす弊害を予防し身体機能を維持することが重要です。そのためには、病態を把握し、症状の変化を見逃さず、状態に合った理学療法を提供できることが求められます。

本セミナーでは、実際の症例をもとに理学療法を進める際に知っておくべき知識や考え方について解説させていただきます。